

講師のご紹介

山本 明美（やまもと あけみ）氏
特別養護老人ホーム第2春香苑 施設長

■略歴

1963年 アメリカニューヨーク州で生まれ、7歳の時に日本へ
1985年 看護師免許取得、20代は救命看護師としてドクターヘリで救助活動の日々を送る
1995年 フロリダ大学にて地域福祉学を学び、それを機に医療現場を離れることを決意
2001年 帰国後、介護老人保健施設にて支援相談員と介護支援専門員を兼務
2007年 社会福祉法人末広会特別養護老人ホーム春香苑に相談員として勤務
2011年 同施設の施設長に就任、同時に看取りケアを開始
2017年 第2春香苑の新規開設と共に施設長として異動、現在に至る
一方、高齢者介護の枠にとどまらず、不登校児の居場所づくり、ひきこもりの若者たちの就労支援、孤立している子育てママたちの交流の場づくりなど、支援活動に注力

■保有資格

看護師、介護支援専門員、社会福祉士

<講師よりメッセージ>

施設長（管理者）であればお分りのとおり稼働率が運営の鍵を握っています。そして看取りケアの実践は稼働率を安定させます。全国平均でも約8割の介護施設が看取りに対応、つまり介護施設での看取りは「欠かせないケアの一つ」になっています。

施設で「暮らす」ことは、つまり施設で「生きる」ことです。どのような状態になろうとも、尊厳が守られ、最期まで自由で自分らしくありたい、そんな最期の願いを「介護力で支える」、これは介護に携わる私たちの務めではないでしょうか。皆さんはどう思いますか？

今回の研修では当施設での看取りの現状を紹介します。ひとつでも参考になり看取りへの認識が深まることを期待します。